令和5年度決算に基づく

健全化判断比率報告書

上 峰 町

目 次

令和 5 年度健全化判断比率報告書	1
(1)総括表 ······	1
(2)実質赤字比率 ······	2
(3)連結実質赤字比率 ······	2
(4)実質公債費比率 ······	3
(5)将来負担比率 ······	3

令和5年度健全化判断比率報告書

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定に より、健全化判断比率を次のとおり報告する。

(1) 総括表

(単位:%)

区分	実質赤字	連結実質赤字	実質公債費	将来負担
E /J	比率	比率	比率	比率
令和5年度決算 健全化判断比率	_	_	7. 5	_
(早期健全化基準)	(15.0)	(20.0)	(25.0)	(350.0)
(財政再生基準)	(20.0)	(30.0)	(35.0)	_

⁽注) 実質赤字又は連結実質赤字がない場合は、「一」を記載している。

〈参 考〉比率の概要

区分	概 要
	町税、地方交付税等の一般財源をその支出の主な財源として
実質赤字比率	いる一般会計等について、歳出に対する歳入の不足額(いわゆ
(一般会計等の実質赤字の比率)	る赤字額) を町の一般財源の標準的な規模を表す標準財政規模
	の額で除したものである。
連結実質赤字比率 (全ての会計の実質赤字の比率)	町のすべての会計の赤字額と黒字額を合算して、町全体とし
	ての歳出に対する歳入の資金不足額を、町の一般財源の標準的
	な規模を表す標準財政規模の額で除したものである。
実質公債費比率 (公債費等の比重を示す比率)	町の一般会計等の支出のうち、義務的に支出しなければなら
	ない経費である公債費や公債費に準じた経費を町の標準財政
	規模を基本とした額で除したものの3か年の平均値である。
将来負担比率	町の一般会計等が将来的に負担することになっている実質
(地方債残高のほか一般会計等	的な負債にあたる額(将来負担額)を把握し、この将来負担額
が将来負担すべき実質的な負債	から負債の償還に充てることができる基金等を控除の上、町の
を捉えた比率)	標準財政規模を基本とした額で除したものである。

(2) 実質赤字比率

(単位:%)

			(=
実質赤字比率	_	(参考)	-6.80

注1 実質赤字額がない場合は、「一」を記載している。

【算定方法】

普通会計の実質赤字額(※実質収支額がマイナスの場合のみ)

実質赤字比率 =

標準財政規模

【対象】

● 普通会計 一般会計,土地取得特別会計

(3) 連結実質赤字比率

(単位:%)

連結実質赤字比率	_	(参考) -12.65
----------	---	-------------

注1 連結実質赤字額がない場合は、「一」を記載している。

【算定方法】

普通会計・公営事業会計の実質赤字額

連結実質赤字比率 =

標準財政規模

【対 象】

● 普通会計

● 公営事業会計 特別会計:国民健康保険,後期高齢者医療

公営企業会計:下水道事業(農業集落排水)

(4) 実質公債費比率

(単位:%)

実質公債費比率 (3か年平均)

7. 5

【算定方法】

(元利償還金+準元利償還金)

- (特定財源+元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)

【対 象】

- 普通会計 公営事業会計
- 一部事務組合・広域連合 三神地区環境事務組合, 鳥栖・三養基西部環境施設組合 鳥栖・三養基地区消防事務組合, 佐賀東部水道企業団 佐賀県東部環境施設組合

(5) 将来負担比率

(単位・%)

	(十)五: /0/
将来負担比率	_

【算定方法】

将来負担額- (充当可能基金額+特定財源見込額 +地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額)

将来負担比率 =

標準財政規模-(元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額)

$$\triangle 2$$
, 108, 754千円 = — % 2, 534, 786千円

【対象】

- 普 通 会 計 公営事業会計 一部事務組合·広域連合
- 地方公社・第三セクター等 三養基西部土地開発公社